令和５年度研究推進計画

廿日市市立佐方小学校

１　学校教育目標

「自立貢献」

～自己と地域の未来を切り拓いていく児童の育成～

２　研究主題

協働的な学びを通して思考力・表現力を高め，学びを深める児童の育成

～ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業づくり～

３　主題設定の理由

廿日市中学校区では,「ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業づくり」を目指し，どの児童にも分かりやすく，ひとりへの支援がみんなへの支援につながる授業づくりを進めてきた。また，令和３年度からの２年間を通して，国語科の説明文の学習について研究を進めてきている。本質的な問いによる授業改善を生かして，教材研究や協働的な学びの場の設定を積極的に行いながら，文章の内容を要約したり，要旨を捉えたりする活動において，手立てを工夫してきた。

令和４年度に行った全学年の国語科「説明文の内容を読み取る」項目においての廿日市市学力定着状況調査の結果は以下の通りだった。

※①②③は，（上段）校内正答率・（下段）全国値となっている。

	第１学年	第２学年	第３学年	第４学年	第５学年	第６学年
本校平均	７３．４	７７．４	７３．８	７８．１	７４．５	７１．４
市平均	８１．３	８４．１	７６．９	７３．５	７７.０	７４．１
全国平均	７６．８	７８．７	７４．４	７２．０	７２．７	７４．５
①段落や文章全体の構成を捉える。	７０．６ ６９．２	８５．８ ８０．０	７８．９ ８０．８	６０．０ ５６．５	８３．９ ８２．６	７０．６ ６１・３
②文章の内容を捉える。	８５．３ ８０．７	８９．６ ８６．９	８５．６ ７９．９	７７．９ ７７．７	７９．６ ７６．６	６７．１ ６４．２
③文章の中の重要な語や文を捉える。文章の情報を整理し，要約する。	８１．７ ７６．３ （重要な語句）	８２．１ ８１．２ （重要な語句）	４８．９ ５１．５ （要約）	７１．６ ６９．４ （要約）	５３．８ ４７．４ （情報整理）	１６．５ １６・９ （情報整理）

特に，③の「文章の中の重要な語や文を捉える力」や「文章に書かれている情報を整理し，要約したり，要旨を捉えたりする力」に課題があることが分かる。また，廿日市市の平均と比較しても，ほとんどの学年が下回っている。

１０年後，２０年後の将来を見据え，本校の児童に育てたい資質・能力は「思考力・表現力」「主体性」「自己有用感」である。特に，今年度も，研究の主体を「思考力・表現力」の育成とし，その取組過程において，「主体性」や「自己有用感」を意識しながら研究を推進する。国語科の単元開発を通して，児童自ら課題意識をもって思考・表現し，協力して粘り強く課題解決に取り組み，自分と友達の考

えを比べ，考えを広げ，深めることで，学びの質を高める児童を育成することを目指す。

児童が主体的に活動する言語活動の工夫，効果的に協働的な学習を取り入れる工夫を主な授業改善の視点とし，互いに聞き合い，伝え合う場を設定することで，自らの考えを広げ深める力を身に付け，学ぶ楽しさを実感させたいと考え，本主題を決定した。

４　研究の仮説

・国語科において，児童が主体的に活動するよう言語活動を充実し，協働的な学習の場を効果的に設定することで，児童の「思考力・表現力」が育まれるであろう。

・国語科の効果的な指導方法についての協議・研修を行い，教職員間で国語科の指導について知識を深めることで，児童の基礎・基本的な国語の力が身に付くであろう。

・ユニバーサルデザインを活用することで，課題のある子への適切な支援を行うことができるであろう。

5　研究構想図

学校教育目標
「自立貢献」
～自己と地域の未来を切り拓いていく児童の育成～

佐方小学校研究主題
協働的な学びを通して思考力・表現力を高め，学びを深める児童の育成
～ユニバーサルデザインの考え方を生かした授業づくり～

思考力・表現力

【低】重要な語や文を選び出す力。
【中】中心となる語や文を見付けて要約する力。
【高】文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力。

付けたい力

主体性

言語活動の充実

児童が主体的に活動する言語活動の設定

主体的な学び

自己有用感

協働的な学習の場の設定

友達の意見に耳を傾ける
自分の考えを伝える
考えを比べ，広げ，深める

ICT の効果的な活用

深い学び

対話的な学び

教科横断的なカリキュラムマネジメント

ユニバーサルデザインや合理的配慮を前提とする
学級経営・授業づくり
国語科の効果的な指導方法

６　研究内容

（１）ユニバーサルデザインや合理的配慮を前提とする学級経営・授業づくり

（児童が自分で選択できる環境づくり）

ア　Simple：焦点化

・学習内容の焦点化：１時間で学ぶ内容を１つに絞り，何をどのように学ぶのかを明示する。

・学習方法の焦点化：学習過程の明示（佐方小授業モデル），操作や活動の手順を簡潔に分かりやすく，「発問」の精選をする。

＜基本モデル＞

佐方小授業モデル

① 課題をつかむ 情報収集	問題提示の工夫・気付き(情報)の交流→めあての設定
② 整理・分析	●比較 ●分類 ●関係付け ●理由付け 【共有の場面の工夫】 個人思考⇒共有 （ペア・グループトーク つなぎ発言の活用等）
③ 表現・まとめ	考えを表現し，学年や内容に応じてまとめる
④ 振り返り	振り返りの視点を明確に・振り返りを交流する

イ　Visual：視覚化

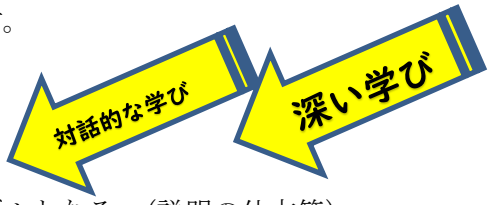
・絵や図，シンボル，モデリングを活用した板書や活動：内容をイメージしやすくする。

・ワークシートの工夫：視覚的に捉えやすい配置にする。

・板書の構造化：「今何をしているのか」を捉えやすくする。

・シンプルな掲示物：前面は，年間を通して掲示しておく必要があるものだけにする。背面は，児童生徒の作品等足跡を肯定的に評価する動的な掲示に。側面は学習に必要な情報を提示する。

・教師や児童用の机，棚周りの整理整頓：教師が集めた宿題のノートや足元の荷物を整理する。児童ロッカーの整頓の仕方を写真や図で示す。



ウ　Share：共有化

・学習活動の共有：共に学習を行う児童生徒がモデルとなる。（説明の仕方等）

・学習内容の共有：ペアやグループ活動で学習内容を共有する。（学習活動を見通し，効果的に伝達するミニリーダー的要素の育成）

全体共有の場面で，聞き方の指導とつなぎ発言の指導を行う。

・教科横断的なカリキュラムマネジメント：教科，外国語活動，総合的な学習の時間，特別の教科道徳，学校行事を関連付けた指導を効果的に行い，学年ごとに作成した年間指導計画を，学期ごとに校内研修で振り返りながら評価，改善をし，学年間で共有する。

（２）児童が主体的に活動する言語活動の工夫

各学年において，小学校学習指導要領国語〔思考力，判断力，表現力等〕C　読むこと　(1) ウ 又は ア に示されている以下の事項を身に付けることができるよう，児童の主体的な言語活動を充実する。

低学年　C (1) ウ	中学年　C (1) ウ	高学年　C (1) ア
文章の中の重要な語や文を選び出す力。	目的を意識して，中心となる語や文を見付けて要約する力。	事実と感想，意見などの関係を叙述を基に押さえ，文章全体の構成を捉えて要旨を把握する力。

（３）効果的に協働的な学習を取り入れる工夫

自分と友達の考えを比べ，考えを広げ，深めるために，互いの考えを聞き合い伝え合う場を設定する。

7　研究方法

（１）理論研修

・学習規律，研究構想，計画を提示し,職員の共通認識を図る。
・校内研修で行う授業研究の事前，事後協議をする。また，模擬授業を行う。
・授業研究で付けたい力，UD を必要とする児童への支援，言語活動の充実と協働的な学習場面の工夫について協議する。

（２）単元開発・授業改善

・国語科「C 読むこと（説明的な文章)」における「思考力」「表現力」について考える。
・児童が主体的に活動する言語活動の工夫について考える。
・互いの思考・表現力を高める協働的な学習場面の工夫について考える。
・定期的な各教科の年間計画の見直しと教科横断的な単元開発をする。
・児童の実態を基に，単元でつまずきそうな部分や付けたい力を指導案に明示する。
・単元終末における児童の目指す姿を指導案に明示する。
・単元構想シートを活用して，「本質的な問い」に基づいた一貫性のある単元計画を行う。

８　検証について

（１）検証の視点

ア　取組の検証

・授業のねらいや学習内容，評価規準は付けたい力に対して適切であったか。

・言語活動を充実させるための工夫は適切であったか。

・協働的な学習場面の工夫は適切であったか。

・ユニバーサルデザインの視点に基づき，配慮を要する児童に対する手立てが有効であったか。

イ　成果の検証

・国語科における「思考力・表現力」が身に付いたか。

（２）検証方法

・廿日市市学力定着状況調査【国語科】の思考力・判断力・表現力の観点の問題による評価
（廿日市市平均と比較し，上回っているか。昨年度の数値より上回っているか。）

・児童・教師の意識調査（肯定的評価をした児童・教職員の割合が 80%以上）

９　研究計画表

月	校内研修（研究に関連した内容）	◎授業者	講師
4	7日(金)　理論研修Ⅰ （研究推進計画案・UD・佐方小モデル 授業者・各学年 PJ 決定）		
5	18日(木)　理論研修Ⅱ （研究推進計画・今年度の指導案 UD を必要とする児童について）		
	25日(木)　授業研究Ⅰ(特別支援)	なかよし学級担任 2 学級に分かれて	特別支援教育 アドバイザー 大本　市郎先生
6	29日(木)　理論研修Ⅳ(国語科指導方法)		
8	2日(水)　理論研修Ⅲ(国語科指導方法) 模擬授業Ⅰ(低　2年・中　4年) 25日(金)　理論研修Ⅳ(各学年授業研究協議) 模擬授業Ⅱ(高　6年)	松岡 新田 中島	
9	28日(木)　授業研究Ⅱ(国語　中学年　第3学年) 単元名「」	佐々木	
10	26日(木)　授業研究Ⅲ(国語　高学年　第5学年) 単元名「」	小川	
11	16日(木)　三校合同研究会【廿日市小学校】		
1	25日(木)　授業研究Ⅳ(国語　低学年　第1学年) 単元名「」	秋本	
2	22日(木)　理論研修Ⅴ(研究のまとめ・来年度に向けて)		

R５　研究推進プロジェクトメンバー

①秋本　②久保利（松岡）　③佐々木　④新田　⑤中島　長本　⑥平野　な山口